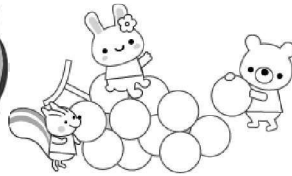


北図書館だより9月号 ほうれんそう

<https://www.amagasaki-library.jp/>



令和2年(2020)第433号

尼崎市立北図書館
尼崎市南武庫之荘3-21-21
TEL (06) 6438-7322
FAX (06) 6438-7344

《新・尼崎の本棚 79》

残念さん

大物公園(東大物町1丁目)の東側に「残念さん」と呼ばれる墓があります。このお墓は長州藩の若者山本文之助のもので、今もお詣りする人が多くいます。なぜ残念さんと呼ばれているかというところ、ある伝承が由来となっています。

元治元年(1864)蛤御門の変において、尊王攘夷派である長州藩の軍勢が京都に攻め込みましたが、幕府の軍である会津藩に破れ長州藩兵の多くは捕らえられるか、自刃もしくは敗走しました。

山本文之助もその一人で、敗走途中に尼崎大物の北ノ口御門で見張り人に捕らえられました。厳しい取り調べを覚悟した文之助は「残念、残念」と連呼し便所の中で自害しました。死ぬ前に遺言として「もし口惜しいことがあれば、自分のところへ来れば、一つだけ願いを叶えてやろう」と書かれていたと噂が伝わり、残念さんのお墓参りが流行しました。元治二年(1865)には大阪から毎日大勢の人が訪れ、大阪町奉行所に参拝を禁止されるほど押し寄せていたという記録があります。

今でもこの伝承からお墓は「残念さん」と親しみを持って呼ばれ、入学試験や病氣平癒の願掛けで訪れる人がいるという事です。

(参考:『地域史研究 第2巻第1号(昭和47年6月)』尼崎市史編修室/編集発行
『尼崎の伝説』尼崎市立北図書館/編集発行)

◆大物公園

大物公園は、阪神大物駅北側に位置し、かつて大日本紡績尼崎工場の敷地でした。その一部が現在の公園となっています。大物川緑地や小田南公園とも結ばれ、緑豊かな広々とした公園となっています。

公園内には日本列島の形で並べられた県木を植えたふるさとの森があります。これらの木は1970年、尼崎市が各都道府県に対して「県の木」の苗木を提供するよう呼びかけ植えられた木々です。また、九州や山口県で昭和11~47年に活躍していた蒸気機関車D51(通称:デゴイチ)が展示されています。この蒸気機関車の重量は68.5トン・長さ19.5m・高さ3.9m・幅2.8mで、走った距離は地球と月を3往復したほど貨物列車として働いていたようです。4~11月の毎月第3日曜日(青少年の日)には一般開放され運転室など内部を見学することが出来ます。

(参考:『阪神南ええとこ100選』阪神南地域ビジョン委員会阪神南再発見クラブ100選編集委員会/著
『市報あまがさき 平成21年5月号』尼崎市広報課/編集発行)

●「幕末」についてならこんな本●

『逆説の日本史 18 幕末年代史編1』井沢 元彦/著 小学館 211966393

『幕末維新最後の藩主285人』新人物往来社/編集発行 230291319

『幕末維新の兵庫・神戸』山崎 整/著 神戸新聞総合出版センター 212169874

<図書館の休館日> 印の日はお休みです

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	㉑	㉒	23	24	25	26
㉗	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
④	5	6	7	8	9	10
⑪	12	13	14	15	16	17
⑱	19	20	21	22	23	24
㉕	26	27	28	29	30	31



9月:長月(ながつき)

食べ物:イワシ、イチジク、スダチ、ナシ、ショウガ

植物:アケビ、コスモス、オシロイバナ、キク、ヒガンバナ

季語:名月、イワシ雲、菊日和、秋の田

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)



バリアフリー映画会

天国からのエール

熊澤 誓人監督
2011年 日本

【日 時】9月22日(火・祝) 14:00~16:00

【場 所】北図書館 3階集会室

【定 員】先着30名

【申 込】8月27日(木)から

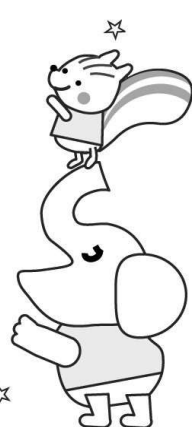
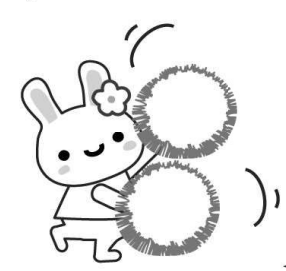
直接来館、もしくは電話、FAXで受付

【TEL番号】(06)6438-7322

【FAX番号】(06)6438-7344

視覚・聴覚に不自由のある方でも一緒に楽しめる映画会です。

「日本語字幕」と「音声解説」が付いています。



★おはなし会、再開しました！予告なしに中止になる場合もあります★



日曜日の おはなし会



(第2・第4日曜日)

【日時】9月13日(日)、9月27日(日)

11時00分~11時30分

【場所】北図書館 1階児童室前ロビー

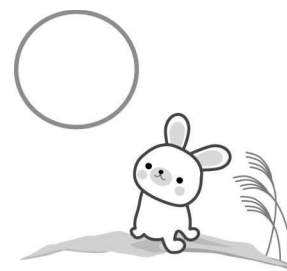
【対象】2歳くらいから

季節の絵本や紙芝居など

<9月展示のご案内>

- 一般大展示 「家族っていいな」
- 2階展示 「愉^{タノ}シイ文豪」
- 児童大展示 「おつきさま」
- 児童読み物展示 「なぜエコバッグを持たないと
いけないの？」

☆1階ロビーにて読書ジョギングのおすすめ本を掲示



障がい者と高齢者向けの朗読会

【日時】 9月16日(水) 午後2時から1時間ほど
【場所】 3階 集会室
【内容】 『Presents』より 「鍋セット」角田 光代／著
「桃花片」 岡野 薫子／著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

人を読む 東直子

1963年～広島県生まれ。神戸女学院大学家政学部食物学科卒業。1996年「草かんむりの訪問者」で第7回歌壇賞受賞。2006年『長崎くんの指』で小説家としてもデビュー。2016年『いとこの森の家』で第31回坪田譲治文学賞受賞。

『薬屋のタバサ』

東 直子[著]／新潮社

“平穏な時間。それ以外に、欲しいものなんてわたしにはもう何もない。”自分の歩んできた人生を消そうとしていた“わたし”。一軒の古めかしい薬屋にたどり着き、働き始めるが……。つかみどころのない独身の薬屋店主・タバサと、町の住人との不思議な日々を描いた物語。

『いつか来た町』

東 直子[著]／PHP研究所

福岡、下北沢、銀座、立川、名古屋……文字通り、著者がいつの日か来たことのある町について独自の視点から、その町で見たもの・感じたもの、そこから連想したものを感性豊かに書き綴る。『PHPスペシャル』『文蔵』の連載を加筆・訂正して単行本化したエッセイ集。

『私のミトンさん』

東 直子[著]／毎日新聞社

海外赴任をしているミキヒコ叔父さんが、空いている家をタダで貸してくれるという。そこに住むことにした茜は、床下収納で眠っていた身長50センチの小さなおばあさんを見つける。秘密の同居人・ミトンさんと独創的な周りの人々とのやりとりを綴った小説。『本の時間』連載を単行本化。

『ふるふるフルーツ』

ひがし なおこ[著]

はらぺこめがね[画]／学研教育みらい

“ぱあんはじけてぼろんぼろん”ぶどうさん、オレンジさん“ころりん”、バナナさん“ひよろりん”声に出して心地よく、目においしい絵本。たくさんのみずみずしいフルーツたちが最後には……。ページをめくるしかけもある楽しい一冊。【3～5歳から】

歌人、作家。他にもエッセイ、ミュージカル脚本や、書評、ラジオ出演など幅広く活動。イラストレーション青山塾16期生としてイラストを学んだ経験もあり、自著の装画も手がける。2007年発表の連作短編小説『とりつくしま』が2013年に劇団俳優座で舞台化。神話ミュージカル『姫神楽』ほか、脚本も多く執筆しており、姉の小林久美子も歌人。

9月

おはなし室からのおすすめ本



おひざのうえ

紹介文：ポランティアグループ「ひまわりの会」

りんご ごろごろ 森あさ子 絵
もぎあきこ 文 世界文化社
楽しい赤ちゃんが笑顔になる手遊びうた絵本です。お子さんと一緒に歌ってみましょう。楽譜も付いています。

安西水丸のどうぶつパシャパシャ
安西水丸 絵 安西カオリ 文 文芸社
はい、みんな、しゃしんをとりますよー。
いちばんおきにいりのぼーすをとってね。じゅんぴはいいかな？！



ちいさいひと

ぱぱんがパン！
柴田ケイコ 作 アリス館
ここはふしぎなパンの国。「ぱぱんがパン！」と手をたたくといろんなパンがひみつをみせてくれますよ。

つきのよるのものがたり かさいまり 作
黒井健 絵 ひさかたチャイルド
おひさまがみたくて「つきのよる」という絵からとびだしたかわいいネズミたちのおはなしです。



おおきいひと

ヨセフのだいじなコート
シムズ・タバック作 木坂涼 訳
フレーベル館
ヨセフのだいじなコートがなんにもない！になるまでのお話です。いろいろありました。

時計づくりのジョニー エドワード・アーティゾーニ 作 あべきみこ 訳 こぐま社
ジョニーは物作りが大好きな男の子。ある日大時計を作ろうと奮闘がはじまりました。がんばれジョニー。



おすすめ 科学読み物



3さいくらいまで

やさいのおなか
きうちかつ 作・絵 福音館書店
縦に切った野菜の断面のシルエット。
「これなーに？」答えは次のページに。クイズみたいで楽しく野菜を学べます。

どうやってねるのかな
やぶうちまさゆき 作 福音館書店
動物の生態が丁寧に描かれた絵本を読んであげて下さい。そして動物園で本物を見せてあげて。他のシリーズもあります。



4さいくらいから

巣箱のなかで
鈴木まもる 作・絵 あかね書房
鳥は卵からヒナになるって知っているよね…でも、巣箱の中のようなすは知らないでしょ？この本を開くと、鳥の子育てを体験できるよ。

はちうえはぼくにまかせて
ジーン・シオン 作 マーガレット・プロイ・グレアム 絵 もりひさし 訳 ペンギン社
夏休みに近所の家の人達の植木鉢を預かることにしたトミー。植物がどんどん伸びていって、家の中がジャングルに…